

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月30日

上場会社名 積水化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4204 URL <https://www.sekisui.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 敬太
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務執行役員 (氏名) 清水 郁輔 TEL 03-6748-6467
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切り捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	955,342	3.4	77,359	17.5	86,097	18.2	68,495	17.2
2024年3月期第3四半期	923,931	1.3	65,834	5.4	72,814	△0.8	58,432	10.7

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 66,161百万円 (△16.8%) 2024年3月期第3四半期 79,511百万円 (30.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	163.73	—
2024年3月期第3四半期	137.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	1,332,748	845,660	61.2
2024年3月期	1,323,243	820,925	59.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 816,176百万円 2024年3月期 792,329百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	35.00	—	39.00	74.00
2025年3月期	—	37.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	40.00	77.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,307,700	4.1	107,000	13.3	106,000	0.1	80,000	2.7	191.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 3社 (社名) 甲府積水産業株式会社、東積加工株式会社、四積化工株式会社
除外 2社 (社名) PT. Sekisui Indonesia、Sekisui Chemical India Private Ltd.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、【添付資料】P. 11「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	444,507,285株	2024年3月期	448,507,285株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	26,962,881株	2024年3月期	27,121,698株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	418,331,421株	2024年3月期3Q	425,833,534株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 2024年10月31日に公表いたしました連結業績予想は、通期について本資料において修正しております。
2. 2024年4月26日に公表いたしました配当の状況は、通期について本資料において修正しております。
3. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 配当予想の修正に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	12
3. 参考資料	14
(参考資料-1) 2025年3月期 第3四半期連結累計期間の実績	14
(参考資料-2) 2025年3月期 通期見通し	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

①全社の概況

売上高9,553億円（前年同期比+3.4%増）、営業利益773億円（同+17.5%増）、経常利益860億円（同+18.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益684億円（同+17.2%増）

当第3四半期連結累計期間は、国内の新築住宅の需要が低迷し、グローバルの自動車生産は想定を下回って推移しましたが、エレクトロニクス市況などが堅調に推移し、高付加価値品の販売拡大に加え、為替の効果もあり、売上高は第3四半期連結累計期間の過去最高を更新しました。

高付加価値品の販売拡大、スプレッドの確保、固定費の抑制に努め、為替の効果もあり、各段階利益は第3四半期連結累計期間の過去最高を更新しました。

②事業セグメント別概況

【住宅カンパニー】

売上高3,856億円（前年同期比△1.5%減）、営業利益232億円（同+19.7%増）

当第3四半期連結累計期間は、リフォーム事業および不動産事業の売上高が伸長しましたが、前期の新築住宅事業の受注棟数減少の影響を受け、カンパニー全体では減収となりました。一方、棟単価の上昇や新築住宅事業の収益性強化策の効果が発現し、増益となりました。

受注については、新築住宅事業では、東京や中部、近畿など都市部では受注棟数が前年同期を上回ったものの、全体では前年同期並みとなりました。リフォーム事業では、営業人員の拡充や大型改装の拡販により、前年同期を上回りました。

施策面については、新築住宅事業では、各エリアのニーズに応じた商品開発や販売戦略を推進しました。また、収益性強化策を推進し、リフォーム事業などの成長領域への人員シフトを進めたほか、一般建築物リフォームの拡販を目指し、北海道でリフォーム事業を展開する株式会社クレアストの全株式を11月に譲り受けるなど、リフォーム事業の体制強化に努めました。

【環境・ライフラインカンパニー】

売上高1,742億円（前年同期比+2.8%増）、営業利益150億円（同+7.8%増）

当第3四半期連結累計期間は、国内住宅市場が低迷し、非住宅市場は緩やかに回復も想定をやや下回りましたが、重点拡大製品の拡販による販売数量の確保、売値の改善、固定費の抑制に努め、増収・第3四半期連結累計期間での最高益を更新しました。

パイプ・システムズ分野では、国内非住宅市場は緩やかな回復基調も、想定をやや下回って推移し、塩素化塩ビ樹脂（CPVC）はインド市場の低迷の影響を受けましたが、重点拡大製品の拡販による販売数量確保と売値改善などにより、売上高は前年同期を上回りました。

住・インフラ複合材分野では、耐火・不燃材料は重点拡大製品を中心に需要が堅調に推移し、合成木材は欧州を中心に受注が拡大しました。これらの要因により、分野全体の売上高は前年同期を上回りました。

インフラ・リニューアル分野では、管路更生は国内公共工事の発注減少や海外での物件の遅れにより苦戦しましたが、受水槽（パネルタンク）需要は堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

【高機能プラスチックカンパニー】

売上高3,331億円（前年同期比+8.8%増）、営業利益454億円（同+21.0%増）

当第3四半期連結累計期間は、半導体関連をはじめとするエレクトロニクス関連の需要が一定程度回復し、高機能品の販売が拡大するとともに為替の効果もあり、増収・大幅な増益となり、第3四半期連結累計期間での最高益を更新しました。

エレクトロニクス分野では、スマートフォン市況が堅調に推移、半導体関連の需要が一定程度回復し、新規需要獲得も順調に進捗したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

モビリティ分野では、一部航空機関連の需要低迷や自動車生産停滞の影響があったものの、新高機能中間膜（ヘッドアップディスプレイ用、遮熱、カラー・デザイン）の拡販が着実に進捗し、売上高は前年同期を上回りました。

インダストリアル分野では、欧州の建築・消費財需要は想定を下回るも、売値の改善が進捗、フォーム材、テープなどの省力化・環境貢献製品の拡販も寄与し、売上高は前年同期を上回りました。

【メディカル事業】

売上高730億円（前年同期比+8.4%増）、営業利益92億円（同+16.1%増）

当第3四半期連結累計期間は、検査事業、医療事業ともに需要が堅調に推移したことで増収・第3四半期連結累計期間での最高益を更新しました。

検査事業において、国内販売では、生化学・免疫項目を中心に、検査需要を確実に取り込みました。また海外販売では、中国での検査需要減少や米国での感染症コンボ検査キット拡販遅れの影響がありましたが、米国でのFLUおよびCOVID-19検査キットの販売が堅調に推移し、検査事業の売上高は前年同期を上回りました。

医療事業では、新規原薬の需要拡大に加え創薬支援事業の受注が堅調に推移、また拡大新生児スクリーニング検査の受託や試薬の販売も拡大し、売上高は前年同期を上回りました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末より9,504百万円増加し、1,332,748百万円となりました。

(資産)

流動資産については、前連結会計年度末より3,819百万円増加し、689,383百万円となりました。主な要因は、棚卸資産が合計で24,851百万円増加し、現金及び預金が16,247百万円、営業債権が合計で3,671百万円減少したこと等によるためです。

また、固定資産については、5,685百万円増加し、643,364百万円となりました。

(負債)

前受金が11,189百万円、退職給付に係る負債が2,731百万円増加しましたが、短期借入金が8,716百万円、賞与引当金が7,713百万円、未払法人税等6,675百万円、繰延税金負債が3,568百万円、支払手形、電子記録債務、買掛金、未払費用の仕入債務等が合計で1,870百万円減少したこと等により負債合計では15,230百万円減少し、487,088百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は24,734百万円増加し、845,660百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益68,495百万円を計上したこと、配当金の支払31,964百万円、自己株式の取得8,921百万円、為替換算調整勘定が6,831百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が7,706百万円、退職給付に係る調整累計額が3,327百万円減少したこと等によるためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、市況や為替影響などを勘案し、2024年10月31日に公表した予想数値を下表の通り修正します。

2025年3月期連結業績予想数値の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A） （2024年10月31日公表）	百万円 1,308,700	百万円 105,000	百万円 102,500	百万円 78,000	円 銭 186.81
今回予想（B）	1,307,700	107,000	106,000	80,000	191.60
増減額（B－A）	△1,000	2,000	3,500	2,000	—
増減率（%）	△0.1%	1.9%	3.4%	2.6%	—
（ご参考）前期実績 （2024年3月期）	1,256,538	94,399	105,921	77,930	183.48

（4）配当予想の修正に関する説明

当社は、企業価値を増大させ、株主の皆様への利益還元を積極的に行うことを経営上の重要課題の一つとして位置付けています。株主還元につきましては、中期経営計画Drive2.0において次の方針を表明しコミットを強化・明確化しています。

- ・ 配当性向：40%以上
- ・ DOE：3%以上
- ・ 総還元性向：D/Eレシオ0.5以下であれば、50%以上
- ・ 自己株式消却：自己株式が発行済株式総数の5%以内となるよう、新規取得見合い分を消却

2025年3月期の配当金につきましては、上記の方針のもと、通期の1株当たり当期純利益の予想数値を上方修正したことなどを勘案し、期末配当を2024年4月26日公表の前回予想から2円増額し40円に修正します。この結果、2025年3月期の年間配当金は3円増配の77円となる予定です。

	年間配当金（円・銭）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想 （2024年4月26日公表）	37.00	38.00	75.00
今回修正予想	—	40.00	77.00
当期実績	37.00	—	—
前期実績 （2024年3月期）	35.00	39.00	74.00

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	138,572	122,324
受取手形	43,109	44,064
売掛金	168,864	164,237
契約資産	1,486	1,188
商品及び製品	112,748	110,822
分譲土地	67,693	68,954
仕掛品	61,087	79,230
原材料及び貯蔵品	56,704	64,077
前渡金	4,122	5,628
前払費用	5,793	6,869
短期貸付金	1,115	694
その他	25,044	22,306
貸倒引当金	△776	△1,014
流動資産合計	685,564	689,383
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	123,499	123,435
機械装置及び運搬具（純額）	114,194	116,093
土地	85,931	86,247
リース資産（純額）	21,750	20,734
建設仮勘定	33,599	40,312
その他（純額）	13,510	14,558
有形固定資産合計	392,485	401,382
無形固定資産		
のれん	8,636	7,706
ソフトウェア	17,410	17,255
リース資産	107	69
その他	32,944	36,552
無形固定資産合計	59,097	61,583
投資その他の資産		
投資有価証券	127,421	116,251
長期貸付金	1,097	1,084
長期前払費用	2,130	1,925
退職給付に係る資産	35,368	35,504
繰延税金資産	4,223	9,129
その他	17,136	17,255
貸倒引当金	△1,280	△752
投資その他の資産合計	186,096	180,398
固定資産合計	637,679	643,364
資産合計	1,323,243	1,332,748

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	578	482
電子記録債務	15,567	16,011
買掛金	107,713	108,462
短期借入金	11,569	2,853
1年内償還予定の社債	30	—
リース債務	5,433	5,077
未払費用	43,107	40,140
未払法人税等	25,086	18,411
賞与引当金	19,628	11,914
役員賞与引当金	474	354
完成工事補償引当金	2,445	1,908
株式給付引当金	112	80
前受金	57,436	68,625
その他	55,414	56,055
流動負債合計	344,597	330,379
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	46,270	46,412
リース債務	17,421	16,802
繰延税金負債	4,757	1,189
退職給付に係る負債	41,344	44,076
株式給付引当金	1,083	1,096
その他	6,843	7,131
固定負債合計	157,720	156,708
負債合計	502,318	487,088
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,002	100,002
資本剰余金	108,621	108,650
利益剰余金	501,945	531,369
自己株式	△48,679	△50,082
株主資本合計	661,889	689,939
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,197	43,490
繰延ヘッジ損益	△15	△15
土地再評価差額金	320	319
為替換算調整勘定	67,826	74,658
退職給付に係る調整累計額	11,111	7,784
その他の包括利益累計額合計	130,440	126,236
非支配株主持分	28,595	29,483
純資産合計	820,925	845,660
負債純資産合計	1,323,243	1,332,748

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	923,931	955,342
売上原価	635,919	644,936
売上総利益	288,012	310,405
販売費及び一般管理費	222,178	233,046
営業利益	65,834	77,359
営業外収益		
受取利息	1,378	1,572
受取配当金	3,359	3,218
為替差益	2,859	3,947
持分法による投資利益	—	528
雑収入	2,199	2,788
営業外収益合計	9,797	12,055
営業外費用		
支払利息	860	749
固定資産圧縮損	—	941
持分法による投資損失	4	—
雑支出	1,951	1,626
営業外費用合計	2,816	3,317
経常利益	72,814	86,097
特別利益		
投資有価証券売却益	13,701	14,499
関係会社株式売却益	540	—
特別利益合計	14,242	14,499
特別損失		
投資有価証券評価損	—	245
減損損失	—	187
固定資産除売却損	1,190	1,429
特別損失合計	1,190	1,862
税金等調整前四半期純利益	85,867	98,734
法人税等	26,337	28,619
四半期純利益	59,529	70,115
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,096	1,620
親会社株主に帰属する四半期純利益	58,432	68,495

（第3四半期連結会計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結会計期間 （自 2023年10月1日 至 2023年12月31日）	当第3四半期連結会計期間 （自 2024年10月1日 至 2024年12月31日）
売上高	312,636	326,287
売上原価	212,775	218,684
売上総利益	99,861	107,603
販売費及び一般管理費	75,182	78,966
営業利益	24,678	28,636
営業外収益		
受取利息	483	550
受取配当金	543	536
為替差益	—	8,058
持分法による投資利益	—	443
雑収入	346	1,341
営業外収益合計	1,373	10,929
営業外費用		
支払利息	243	218
固定資産圧縮損	—	941
為替差損	3,633	—
持分法による投資損失	387	—
雑支出	508	450
営業外費用合計	4,773	1,610
経常利益	21,278	37,955
特別利益		
投資有価証券売却益	—	25
特別利益合計	—	25
特別損失		
投資有価証券評価損	—	3
減損損失	—	187
固定資産除売却損	352	545
特別損失合計	352	736
税金等調整前四半期純利益	20,926	37,243
法人税等	6,458	11,087
四半期純利益	14,468	26,155
非支配株主に帰属する四半期純利益	485	586
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,982	25,569

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	59,529	70,115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,527	△7,622
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	17,425	7,292
退職給付に係る調整額	31	△3,544
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,003	△79
その他の包括利益合計	19,982	△3,953
四半期包括利益	79,511	66,161
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,569	64,291
非支配株主に係る四半期包括利益	1,942	1,869

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	85,867	98,734
減価償却費	37,801	38,831
のれん償却額	1,107	1,046
減損損失	—	187
固定資産除却損	1,122	1,417
固定資産売却損益（△は益）	68	12
退職給付に係る資産負債の増減額	236	△2,221
投資有価証券売却損益（△は益）	△13,701	△14,499
関係会社株式売却損益（△は益）	△540	—
投資有価証券評価損益（△は益）	—	245
賞与引当金の増減額（△は減少）	△8,759	△7,794
受取利息及び受取配当金	△4,737	△4,790
支払利息	860	749
持分法による投資損益（△は益）	4	△528
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	△1,771	7,102
棚卸資産の増減額（△は増加）	△8,845	△22,064
仕入債務の増減額（△は減少）	△20,045	△2,444
前受金の増減額（△は減少）	8,004	11,137
その他	2,782	△3,958
小計	79,453	101,162
利息及び配当金の受取額	5,149	5,000
利息の支払額	△967	△811
法人税等の還付額	7,980	2,364
法人税等の支払額	△26,862	△38,976
営業活動によるキャッシュ・フロー	64,753	68,738
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△34,129	△39,753
有形固定資産の売却による収入	571	935
定期預金の預入による支出	△11,636	△15,342
定期預金の払戻による収入	17,061	13,074
投資有価証券の取得による支出	△791	△1,112
子会社株式の取得による支出	—	△105
投資有価証券の売却及び償還による収入	22,012	15,913
関係会社株式の売却による収入	16,739	—
無形固定資産の取得による支出	△11,095	△9,902
短期貸付金の増減額（△は増加）	△912	330
その他	△418	1,150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,597	△34,810
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	425	578
リース債務の返済による支出	△4,319	△4,186
長期借入れによる収入	5	398
長期借入金の返済による支出	△1,904	△9,673
社債の償還による支出	—	△30
配当金の支払額	△27,846	△31,952
非支配株主への配当金の支払額	△1,211	△967
自己株式の取得による支出	△16,171	△8,921
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△3	△41
その他	80	139
財務活動によるキャッシュ・フロー	△50,946	△54,657
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,651	1,655
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	14,861	△19,073
現金及び現金同等物の期首残高	85,207	126,367
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	8	60
現金及び現金同等物の四半期末残高	100,077	107,354

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によって計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1・2)	合計
	住宅 (注1)	環境・ラ イフライン	高機能プ ラスチック クス	メディカル	計		
売上高							
日本	390,415	131,518	84,658	33,883	640,475	1,415	641,891
北米	—	2,134	72,983	15,257	90,375	—	90,375
欧州	—	3,963	55,265	6,261	65,489	—	65,489
中国	—	3,909	51,123	9,962	64,995	1,017	66,013
アジア	949	16,604	33,559	1,348	52,461	48	52,509
その他	—	2,143	4,869	639	7,651	—	7,651
外部顧客への売上高	391,365	160,272	302,459	67,352	921,449	2,481	923,931
セグメント間の内部 売上高又は振替高	182	9,184	3,816	—	13,183	2,037	15,221
計	391,547	169,457	306,276	67,352	934,633	4,519	939,152
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	19,440	13,934	37,557	8,006	78,939	△7,987	70,951

(注1) 「住宅」の売上高には、顧客との契約から生じる収益に該当しない額32,600百万円が「日本」に含まれています。

「その他」の区分の売上高には、顧客との契約から生じる収益に該当しない額616百万円が「日本」に含まれています。

(注2) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィルム型リチウムイオン電池および報告セグメントに含まれない製品の製造、販売およびサービスを行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	78,939
「その他」の区分の利益	△7,987
セグメント間取引消去	296
全社費用(注)	△5,413
四半期連結損益計算書の営業利益	65,834

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注1・2)	合計
	住宅 (注1)	環境・ラ イフライン	高機能プ ラスチック ス	メディカル	計		
売上高							
日本	384,564	135,360	85,683	35,236	640,845	1,744	642,589
北米	—	2,243	83,180	17,358	102,782	—	102,782
欧州	—	5,110	62,101	8,293	75,505	—	75,505
中国	—	2,853	55,412	10,098	68,364	1,369	69,733
アジア	1,014	16,770	37,953	1,643	57,382	32	57,414
その他	—	1,934	5,011	370	7,316	—	7,316
外部顧客への売上高	385,579	164,273	329,341	73,001	952,196	3,146	955,342
セグメント間の内部 売上高又は振替高	74	10,002	3,770	—	13,847	1,922	15,770
計	385,653	174,275	333,112	73,001	966,044	5,068	971,112
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	23,274	15,024	45,461	9,296	93,056	△8,849	84,206

(注1) 「住宅」の売上高には、顧客との契約から生じる収益に該当しない額33,409百万円が「日本」に含まれています。

「その他」の区分の売上高には、顧客との契約から生じる収益に該当しない額792百万円が「日本」に含まれています。

(注2) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィルム型リチウムイオン電池および報告セグメントに含まれない製品の製造、販売およびサービスを行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	93,056
「その他」の区分の利益	△8,849
セグメント間取引消去	△142
全社費用(注)	△6,704
四半期連結損益計算書の営業利益	77,359

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 参考資料

（参考資料－1）2025年3月期 第3四半期連結累計期間の実績

【ポイント】

- ・住宅需要低迷、自動車生産は想定を下回って推移も、高付加価値品の拡販、売値改善などにより**過去最高売上高**
- ・スプレッド確保、固定費抑制の徹底に加え、為替の効果もあり、**各段階利益は大幅増益・過去最高益更新**

(1) 全社業績

① 2024年4月～12月の9ヶ月間

(億円、%)

	2025年3月期 1Q-3Q	2024年3月期 1Q-3Q	増減(率)
売上高	9,553	9,239	314 (3.4)
営業利益	773	658	115 (17.5)
経常利益	860	728	132 (18.2)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	684	584	100 (17.2)

② 2024年10月～12月の3ヶ月間

(億円、%)

	2025年3月期 3Q	2024年3月期 3Q	増減(率)
売上高	3,262	3,126	136 (4.4)
営業利益	286	246	39 (16.0)
経常利益	379	212	166 (78.4)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	255	139	115 (82.9)

(2) 事業セグメント別業績

① 2024年4月～12月の9ヶ月間

(億円、%)

	2025年3月期 1Q-3Q		2024年3月期 1Q-3Q		増減(率)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
住宅	3,856	232	3,915	194	△58 (△1.5)	38 (19.7)
環境・ライフライン	1,742	150	1,694	139	48 (2.8)	10 (7.8)
高機能プラスチック	3,331	454	3,062	375	268 (8.8)	79 (21.0)
メディカル	730	92	673	80	56 (8.4)	12 (16.1)
その他	50	△88	45	△79	5 (12.2)	△8 (—)
消去又は全社	△157	△68	△152	△51	△5 (—)	△17 (—)
合計	9,553	773	9,239	658	314 (3.4)	115 (17.5)

② 2024年10月～12月の3ヶ月間

(億円、%)

(¥)

	2025年3月期 3Q		2024年3月期 3Q		増減(率)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
住宅	1,319	87	1,267	64	52 (4.2)	22 (34.6)
環境・ライフライン	608	65	598	58	10 (1.7)	6 (11.5)
高機能プラスチック	1,119	156	1,059	145	60 (5.7)	10 (7.0)
メディカル	251	33	236	28	14 (6.1)	4 (16.0)
その他	15	△29	13	△28	2 (19.1)	△0 (—)
消去又は全社	△52	△26	△48	△22	△3 (—)	△3 (—)
合計	3,262	286	3,126	246	136 (4.4)	39 (16.0)

為替レート		2024年度		
		上期	3Q	4Q
US\$	想定	156	149	153
	実績	153	152	—
€	想定	168	163	161
	実績	166	163	—
		2023年度		
		上期	3Q	4Q
US\$	想定	139	145	144
	実績	141	148	148
€	想定	151	158	158
	実績	153	159	160

(3) 全社概況 (2024年4月～12月の9ヶ月間)

- ◆住宅需要は低迷、グローバル自動車生産は想定をやや下回るも、エレクトロニクス市況は想定通り
- ◆高付加価値品の販売拡大、スプレッドの確保、固定費の抑制により、**全てのセグメントで増益**

(4) 事業セグメント別概況 (2024年4月～12月の9ヶ月間)

【住宅】

売上棟数減により減収も、棟単価上昇やリフォーム・不動産事業の拡大、収益性強化策の効果発現により増益

- ◆住宅事業
 - ・受注棟数は前年同期比100%、受注金額は同107%。地方は購買意欲の低迷が継続も、都市部では回復基調
 - ・都市部を中心とした高付加価値訴求により棟単価は上昇
- ◆リフォーム事業
 - ・受注高は前年同期比105%。営業体制拡充や大型改装などの拡販が奏功
- ◆共通・その他
 - ・新築住宅事業の人員シフトによる固定費抑制、リフォーム事業にシフトした人材の育成が着実に進捗

【環境・ライフライン】

国内住宅需要低迷、非住宅市況は想定を下回るも、重点拡大製品拡販、スプレッド維持などにより過去最高益更新

- ◆パイプ・システムズ
 - ・国内住宅需要の低迷継続、非住宅市況は回復基調も予想を下回る、重点拡大製品拡販、スプレッド維持に注力
 - ・インドでの塩素化塩ビ(CPVC)樹脂需要、中国でのプラント用配管の需要が想定を下回る
- ◆住・インフラ複合材
 - ・耐火・不燃材料は堅調に推移。合成木材(FFU)は欧州を中心にまくら受注が堅調に進捗
- ◆インフラ・リニューアル
 - ・管路更生は国内公共工事発注減の影響を受ける。受水槽(パネルタンク)は順調に推移

【高機能プラスチック】

高付加価値品の拡販や売値改善により各分野堅調、為替の効果と固定費抑制も寄与し、大幅増収・過去最高益更新

- ◆エレクトロニクス
 - ・スマホ市況堅調、また半導体の需要回復に加えて、非液晶分野中心に拡販が進捗し大幅伸長
- ◆モビリティ
 - ・需要は想定を下回るも新高機能中間膜(ヘッドアップディスプレイ用、遮熱、カラー・デザイン)の拡販が進捗
 - ・AEROSPACE社は航空機向けの需要が低迷も新分野の開拓が進捗、下期黒字化にめど
- ◆インダストリアル
 - ・需要は想定を下回るも建築・消費財関連において売値改善が進捗し増収

【メディカル】

米国での感染症検査需要の確実な取り込み、主要原薬需要や創薬支援事業の受注が堅調に推移、増収・過去最高益更新

（参考資料－2）2025年3月期 通期見通し

【見通し】

- ・高付加価値品拡販とスプレッド維持で、**全セグメントで増益、売上高・各段階利益は過去最高更新へ**
- ・為替の効果もあり、**各段階利益を上方修正**
- ・**配当は期末40円・年間77円。2円増額、15期連続の増配へ**

(1) 全社業績見通し

① 通期

(億円、%)

	2025年3月期見通し	2024年3月期実績	増減(率)
売上高	13,077 [13,087]	12,565	511 (4.1)
営業利益	1,070 [1,050]	943	126 (13.3)
経常利益	1,060 [1,025]	1,059	0 (0.1)
親会社株主に帰属する当期純利益	800 [780]	779	20 (2.7)
1株当たり配当金(通期)	77円 [75円]	74円	3円
同(第2四半期末)	37円 [37円]	35円	2円
同(期末)	40円 [38円]	39円	1円

② 4Q(2025年1月～3月)

(億円、%)

	2025年3月期4Q見通し	2024年3月期4Q実績	増減(率)
売上高	3,523	3,326	197 (5.9)
営業利益	296	285	10 (3.8)
経常利益	199	331	△132 (△39.9)
親会社株主に帰属する四半期純利益	115	194	△79 (△41.0)

注：[]内は2024年10月31日公表の従来予想数値

(2) 事業セグメント別業績見通し

① 通期

(億円、%)

	2025年3月期見通し		2024年3月期実績		増減(率)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
住宅	5,237 [5,267]	311 [311]	5,296	277	△59 (△1.1)	33 (12.2)
環境・ライフライン	2,440 [2,462]	244 [244]	2,347	221	92 (3.9)	22 (10.3)
高機能プラスチック	4,511 [4,450]	610 [591]	4,128	509	382 (9.3)	100 (19.8)
メディカル	1,015 [1,029]	126 [133]	926	109	88 (9.6)	16 (15.0)
その他	85 [88]	△121 [△129]	72	△108	12 (17.2)	△12 (-)
消去又は全社	△211 [△209]	△100 [△100]	△207	△65	△3 (-)	△34 (-)
合計	13,077 [13,087]	1,070 [1,050]	12,565	943	511 (4.1)	126 (13.3)

② 4Q(2025年1月～3月)

(億円、%)

	2025年3月期4Q見通し		2024年3月期4Q実績		増減(率)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
住宅	1,380	78	1,381	82	△1 (△0.1)	△4 (△5.6)
環境・ライフライン	697	93	653	81	43 (6.7)	11 (14.4)
高機能プラスチック	1,179	155	1,066	133	113 (10.7)	21 (16.2)
メディカル	284	33	252	29	32 (12.8)	3 (12.1)
その他	34	△32	27	△28	6 (25.5)	△4 (-)
消去又は全社	△53	△31	△54	△14	1 (-)	△17 (-)
合計	3,523	296	3,326	285	197 (5.9)	10 (3.8)

(3) 全社施策(2025年1月～3月)

- ◆半導体関連など市況の一定の回復を見込み、高付加価値品の販売拡大、コスト削減、スプレッドの確保に注力
- ◆住宅需要の低迷が続くも、順調に進捗している住宅事業の収益性強化策の効果発現
- ◆ペロブスカイト太陽電池を始め、新事業領域の創出を目指した仕込みの具体化加速

(4) 事業セグメント別施策(2025年1月～3月)

【住宅】

新築受注額の確保およびリフォーム・不動産・まちづくり事業の拡大、収益性強化策の効果発現により通期増益へ

- ◆住宅事業
 - ・エリア別商品戦略の継続。大都市向け高付加価値商品、地方向け企画型商品・平屋商品などの拡販に注力
 - ・受注棟数は前年同期比4Q101%、同通期100%を計画。受注金額は前年同期比4Q105%、同通期106%を計画
- ◆リフォーム事業
 - ・住宅からリフォームへのシフト人員の戦力化や診断・提案活動の強化、および一般市場向けの展開強化
 - ・受注高は下期前年同期比105%、通期同106%を計画
- ◆その他
 - ・1月にレジデンシャル事業統括部を新設。不動産・まちづくり事業の一体的拡大へ。まちづくり新規5案件発売予定

【環境・ライフライン】

重点拡大製品の拡販、海外事業拡大に注力。スプレッド維持、固定費抑制の徹底で営業利益率10%、通期最高益更新へ

- ◆パイプ・システムズ
 - ・省人化対策に資する配管材などの重点拡大製品拡販とスプレッド維持の継続
 - ・確実な物件の受注と塩素化塩ビ樹脂(CPVC)新配合品の拡販による数量確保
- ◆住・インフラ複合材
 - ・耐火・不燃材料、介護製品、大型高排水システムなどの重点拡大製品の拡販
 - ・合成木材(FFU)は、欧州を中心とした物件の着実な納入
- ◆インフラ・リニューアル
 - ・インフラ老朽化対策に資する管路更生や高機能受水槽(パネルタンク)などの重点拡大製品の国内外での拡販

【高機能プラスチック】

自動車需要が想定を下回るも、高機能品の販売に注力し、下期および通期最高益更新へ

- ◆エレクトロニクス
 - ・半導体向けを中心とした非液晶分野での拡販に注力
- ◆モビリティ
 - ・需要は想定を下回るもヘッドアップディスプレイ用を中心とした新高機能中間膜の拡販に注力
 - ・AEROSPACE社は下期黒字化に向け、採算改善に注力
- ◆インダストリアル
 - ・フォーム材や長尺クラフトテープなどの省力化製品や環境対応製品の拡販に注力

【メディカル】

米国コンボ検査キット拡販と国内外検査需要の取り込み、医療事業の新規受注獲得により、増収・通期最高益更新へ